

令和元年度弘前商工会議所経営発達支援計画事業評価委員会
議事録

日 時 令和2年2月26日（水）午前10時から午前11時55分まで

場 所 弘前商工会議所会館6階特別会議室

出席者 【委員】

野呂 智子	弘前市商工部商工労政課	課長
丸岡 和明	弘前市商工部産業育成課	課長
海江田 毅	日本政策金融公庫弘前支店	支店長
小山内 一志	青森県信用保証協会弘前支所	支所長
古川 博志	青森県中小企業団体中央会弘前支所	所長
栗村 圭一	K-Oneコンサルティング	代表
山田 貴弘	山田貴弘中小企業診断士事務所	代表
土岐 俊二	弘前商工会議所	専務理事

【事務局】

木下 克也	弘前商工会議所中小企業相談所	所長		
三上 浩平	〃	〃	経営二課	係長
吉澤 佳苗	〃	〃	地域・産業振興課	主事
八木橋 裕生	〃	〃	〃	〃

内 容

午前10時定刻開会。

① 弘前商工会議所経営発達支援計画事業評価委員会について

事務局より再度、内規や委員を説明。事務局案として委員長に土岐弘前商工会議所専務理事を推挙し、出席者異論なく承認。

以後、土岐委員長が議事を務めることとなったが、委員長も弘前商工会議所専務として議論に参加することを了承。

② 弘前商工会議所経営発達支援計画について

事務局より資料を説明。既に委員各位には説明済みであるため特段質問なし。

③ 令和元年度事業について

事務局より資料に基づき令和元年度の実施事業について説明。特に本年は実施1年目であり、当初の計画どおり進まなかったことに加え、計画自体が無理があるところもあるので、来年度への助言を中心に意見をもらった。

各委員の主な意見や助言は下記のとおり。

<土岐委員>

- ・弘前市などと組織しているBUYひろさき推進本部が毎年実施している東京の大手企業本社での物産催事は年々規模が大きくなっており、商機があるのでそういった事業との連携も期待できる。
- ・農業生産法人の方と話をすると、催事でQRコード付きのショップカードを配り、その後自社のネットで直接販売や取引することが最良と考えている。
- ・東京等の百貨店にこだわることなく、地方の催事への出店も有効である。
- ・しかしながら、東京のお客様は品質が良いものは高くても買ってくれるので、世田谷代田のような高級住宅街で売り場を持つことができることは次年度事業に有効になる。
- ・函館地域等、弘前最良な場所で催事参加やイベントを実施することも有効。
- ・高級リゾートホテルで有名な函館男爵倶楽部のセレクトショップが函館北斗駅近くになり、そこではもりやま園のテキカカシードルが売れ筋5位になっている。
- ・こぎん刺しの知名度は東京でも高くなってきており、可能であれば地域団体登録商標を取得して、多くの小規模事業者の推進支援を行うべき。

<山田委員>

- ・土岐委員の言う通り、催事出店者はお客様との直接取引が最も儲かる。
- ・ショッピングサイトを持っていなくてもFAX注文で売り上げをあげているところも多い。
- ・東京ギフトショーなどの見本市はどれだけ名刺交換できるかにつきる。
- ・見本市の商談で伝統工芸関係は製造可能なロットの話によくなるので、生産性の向上に寄与するような助言も必要。

<古川委員>

- ・今回、自分自身もむつ財団の助成を受けて、青森市に小規模事業所数社と東京ギフトショーに出展した。
- ・新型コロナウイルスの影響で来場客の少なさを感じた。
- ・加工食品についてバイヤーに「青森の商品は量目が多い」と言われる。
- ・首都圏のお客様は電車で商品を持ち帰るため重いものを嫌う。
- ・同じデザインの少ない量目の瓶を開発し、参画する事業者を募集しているので弘前市の小規模事業者にもお声がけしたい。
- ・3年連続で10月に盛岡駅前のホテルで商談会が開催されており、日帰りが可能な立地なので首都圏からのバイヤーが結構来ているようである。
- ・他方仙台駅の構内で東北フードネットという名称で物販催事が開催されているが、ただの物売りで商談にはならない。
- ・京都に舞扇堂という扇子専門店があるが、別に京都のものだけ扱っている訳ではない。
- ・良い日本製商品であれば京都などの観光地のセレクトショップで取り扱ってくれるので販路開拓のひとつになると思う。

<海江田委員>

- ・日本政策金融公庫では各地で商談会を開催しており、金融機関なのでビジネスマッチングを行っている。
- ・面白い商品、製品があれば紹介してほしい。
- ・小規模事業者が助成金を受ける際などの自己資金調達に関わる金融支援なども積極的にやりたい。
- ・毎年10月に日本政策金融公庫主催で「東北フードネット in 仙台」を開催している。ホテルの大会場で実施ということもありバイヤーと事業者の距離が近く、商談に繋がりやすい印象を受けている。

<小山内委員>

- ・保証協会では青森市で毎年11月にビジネスフェアを開催している。
- ・今年度は弘前市からは5社が参加した。
- ・新商品開発等専門家の無料派遣も行っているなので活用してもらいたい。
- ・当協会が支援した平山農園のりんごジュースを東京の百貨店に扱ってもらっている
- ・「紅の夢」という商品名で720ml入り2,000円という高額商品だが売れているようだ。

<栗村委員>

- ・以前は深浦町の地域資源活用プロジェクトを行っていた。
- ・年間を通した商品づくりはロット数が季節変動するので難しく、製造ロスを少なくすることが重要だ。
- ・青森県が大宮駅構内で物産展を開催した時、売上がすごく高かったという話を聞いた。
- ・東京近郊都市も人口が多く売り上げが高い。

<丸岡委員>

- ・さきほどBUY ひろさきの話も出たが、その他ひろさきブランド販路開拓支援補助金で展示会の出展支援を実施している。
- ・産業育成課では食産業育成事業として農商工連携、6次化を推進している。

<野呂委員>

- ・商工政策課は商工振興担当部署であり、弘前商工会議所が新法による経営発達支援計画を策定されるのであれば、一緒に考えたい。
- ・さらに、担当は防災課になるかもしれないが、事業継続力強化支援計画の策定も検討したい。

④ その他について

その他、新型コロナウイルス関連について情報共有

以上